

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
23204	栄養教育実習 Nutrition education practice	熊崎稔子			1	必修	1後期

科目の概要

食生活の改善を通して健康の保持増進および生活習慣病予防等に向けた提案ができ、人々の生活の質（QOL）の向上に貢献できるようにするため、この科目では栄養教育で学んだ知識や技術を実践できることを目的とする（ディプロマ・ポリシー①②③）。グループワークが中心の授業で、栄養教育の対象者を具体的に想定して、それに見合った教育の展開法、教材の作成、実際の栄養教室開催まで行う。このような実習を通して、栄養教育プログラムの展開の仕方、問題解決の方法を修得する（ディプロマ・ポリシー④）。この授業では、栄養士に必要な客観的な証拠に基づいて科学的に判断できる能力を身につけるようにする。また、栄養士学外実習に向けた課題研究とも関連する。

学修内容	到達目標
① 対象者に対応した栄養教育が実践できる知識・技術を理解する。 ② 栄養マネジメントに基づいた栄養教育計画作成の方法を理解する。 ③ 対象者に適した教材を選択し、作成方法を身につける。 ④ 対象者に分かりやすい教育の実践方法を理解する。	① 対象者（集団）の特性を考慮した適切な支援となるよう栄養教育の実践法を理解し、効果的な栄養教育を実施できる。（ディプロマ・ポリシー②に相当する） ② 栄養マネジメントに基づいた栄養教育計画を、pisa型学力を活かして作成することができる。（ディプロマ・ポリシー②④に相当する） ③ 対象者に適した教材を選択し、作成することができる。（ディプロマ・ポリシー③に相当する） ④ 対象者に分かりやすい教育の実践を、建学の精神に基づくとともに、pisa型学力を活かして行うことができる。（ディプロマ・ポリシー①④に相当する）

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	栄養教育に関する知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。栄養教育技術の修得のために自ら練習をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	対象者に適した栄養教育の手順や方法を考え、目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく、事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見出すことができる。
	計画力	決められた時間内に、効果的な栄養教育を実施することができる。
	創造力	物事を考える時に固定概念に捉われないこと、いろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	栄養教育計画に従って、対象者に寄り添った教育内容となるよう、わかりやすい教育の仕方（声の大きさ、スピード、話すポイントの整理等）を実施することができる。
	傾聴力	対象者の意見を聞き、さらに対象者から話を引き出すことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：「栄養指導論」相川りゑ子著、建帛社、2,530円（栄養教育で使用したもの）
 参考文献授業の中で適宜資料を配布（文獻・新聞記事等）

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連 栄養学、食品学、栄養教育、栄養カウンセリング、栄養カウンセリング実習
 関連する資格 栄養士

学修上の助言 **受講生とのルール**

国民栄養の現状や食生活の問題点及び食環境について興味をもつこと。健康関連の情報を新聞や専門雑誌などから収集し、スクラップする習慣をつけること。授業で身につける知識をもとに、自分自身の食生活がバランスのとれた状況で維持・継続されるように最大限の努力をし、知識だけでなく、実践力を身につけるように日々努力することを心がけること。

授業内容を理解するための努力をし、分からないことは質問すること。配布資料が多いため、この科目専用のファイル（A4）を用意すること。社会人基礎力の規律性を守ること。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント						
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①							
				②							
				③							
				④							
	平常評価	小テスト		30	①	✓					ライフステージごとの栄養教育に関連する新聞記事から、ポイントの読み取り小テスト（5回） 対象者に合わせた栄養教育をするための基礎知識の確認（1回）
					②	✓					
					③						
					④						
		レポート		30	①	✓					栄養教育教室を開催し、計画、実施、評価、改善点についてレポート作成する。 栄養教育教室の開催を通じて、これまでに獲得した知識や技術をどのように生かし、問題が発生した時にどのように解決したのか、具体的にレポート作成する。
	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		30	①	✓						1. 食育教室において内容、媒体の適切さ、対象者とのコミュニケーション等を総合して評価する。評価は以下3項目を重視する。 (1) 対象者に適した栄養教育計画であること。 (2) 効果的な展開で進行ができていないこと。 (3) 対象者の反応、理解度をくみ取り、わかりやすく食育教室が実施できていること。 2. ライフステージ別の栄養教育 (1) 適切なパワーポイントが作成できること。 (2) 内容を理解してプレゼンテーションできていること。
②				✓							
③				✓							
④				✓							
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓					（主体性）栄養教育に関する知識について、教科書・文献を使って自己学修をする。栄養教育技術の修得のために自ら練習をする。 （実行力）対象者に適した栄養教育の手順や方法を考え、目標に向かって進める。 （課題発見力）思い込みや憶測でなく、事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見出す。 （計画力）決められた時間内に、効果的な栄養教育を実施する。 （創造力）物事を考える時に固定概念に捉われないこと、いろいろな方向から考える。 （発信力）栄養教育計画に従って、対象者に寄り添った教育内容となるよう、わかりやすい教育の仕方（声の大きさ、スピード、話すポイントの整理等）を実施する。 （傾聴力）対象者の意見を聞き、さらに対象者から話を引き出す。 話を聞くとき、プレゼンテーションの時、うなづきやあいづちをしながらか聞く。 （規律性）欠席、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。	
				②	✓						
				③	✓						
				④	✓						
総合評価割合			100								

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>到達レベルS(秀)</p> <p>総合評価点 90点以上</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者（集団）の特性を考慮した適切な支援となるよう栄養教育の実践法をしっかりと理解し、効果的な栄養教育を計画どおり実施できる。 栄養マネジメントに基づいた栄養教育計画を効果的に作成することができる。 対象者適した教材選択、作成を効果的に行うことができる。 対象者に分かりやすい教育の実践を効果的に行うことができる。 <p>到達レベルA(優)</p> <p>総合評価点 80点以上</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者（集団）の特性を考慮した適切な支援となるよう栄養教育の実践法をほぼ理解し、効果的な栄養教育を計画どおりおおむね実施できる。 栄養マネジメントに基づいた栄養教育計画をおおむね効果的に作成することができる。 対象者適した教材選択、作成をおおむね効果的に行うことができる。 対象者に分かりやすい教育の実践をおおむね効果的に行うことができる。 	<p>到達レベルB(良)</p> <p>総合評価点 70点以上</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者（集団）の特性を考慮した適切な支援となるよう栄養教育の実践法を理解し、栄養教育を計画どおり実施できる。 栄養マネジメントに基づいた栄養教育計画を効果的に作成することができる。 対象者適した教材選択、作成を効果的に行うことができる。 対象者に分かりやすい教育の実践を行うことができる。 <p>到達レベルC(可)</p> <p>総合評価点 60点以上</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者（集団）の特性を考慮した適切な支援となるよう栄養教育の実践法を理解し、栄養教育を実施できる。 栄養マネジメントに基づいた栄養教育計画を作成することができる。 対象者適した教材選択、作成を行うことができる。 対象者に分かりやすい教育の実践を行うことができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	◆オリエンテーション ・食育教室の開催に向けて説明する ・幼児の特性（発育・発達、身体的生理的特性等）について	講義 演習 質問を受け、フィードバックする	幼児の特性を理解し、幼児が楽しめる食育教材についてイメージすることができる。	〈復習〉幼児を対象とした絵本などを参考に、幼児の理解力の程度を認識する。 〈予習〉幼児が楽しめる食育教材について調べ、まとめる。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	◆栄養教育実践Ⅰ ・食育教室の準備 ・食育教室の開催に向けてグループ分けをし、各グループで食育のテーマを決める ・各グループで、目標、内容などを決め、計画を立て、制作する。	講義 演習（PC活用：NotebookLM） 質問を受け、フィードバックする	食育教室の目標を決め、テーマ、対象者を考慮した教材を考えることができる。	〈復習〉教材作成の計画を見直し、改善点を探す。 〈予習〉教材作成のための材料などを準備する。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	◆栄養教育実践Ⅱ ・食育教室の準備 ・PDCAサイクルについて説明する ・各グループで、教材制作をする（完成の1/3を目標とする）	講義 演習（PC活用：NotebookLM） 質問を受け、フィードバックする	グループのメンバーと協力し、互いの意見を尊重し、栄養教育教材について理解し、基本的なことに注意しながら制作することができる。	〈復習〉制作活動を振り返り、改善点をまとめる。 〈予習〉次回の制作の到達目標を決め、グループで確認する。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	◆栄養教育実践Ⅲ ・食育教室の準備 ・各グループで、教材制作をする（完成の2/3を目標とする）	講義 演習（PC活用：NotebookLM） 質問を受け、フィードバックする	グループのメンバーと協力し、互いの意見を尊重し、完成度を高めるように制作できる。	〈復習〉制作活動を振り返り、改善点をまとめる。 〈予習〉次回の制作の到達目標を決め、グループで確認する。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	◆栄養教育実践Ⅳ ・食育教室の準備 ・各グループで、教材制作を完成させ、ロールプレイを行う	講義 演習（PC活用） 質問を受け、フィードバックする	食育教材を完成させ、グループ内でロールプレイをし、改善することができる。	〈復習〉ロールプレイを振り返り、幼児や児童との関わり方についてまとめる。 〈予習〉食育教室実施の練習。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	◆栄養教育実践Ⅴ ・食育教室の準備 ・食育教室に必要な看板やディスプレイを制作する ・食育教室のロールプレイを行い、食育教室に備える	講義 グループワーク 質問を受け、フィードバックする	食育教室において、幼児、児童、大人など、対象者に合わせ、臨機応変に対応することができる。	〈復習〉シナリオの確認。食育教室実施の練習。 〈予習〉食育教室の開催後のレポート作成。妊娠期・授乳期についてまとめる。（テキストP101～107）	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	◆栄養教育実践Ⅵ ・食育教室の振り返りをし、目標の到達度、改善点を発表し、今後の食育教室、就職後の食育に活かす ◆ライフステージ別栄養教育Ⅰ（妊娠期・授乳期） ・妊娠期の食事が胎児に与える影響 ・授乳期の栄養摂取	講義 プレゼンテーション 質問を受け、フィードバックする	食育教室の反省から改善点を見出すことができる。 妊娠期の食事の重要性を理解し、適切な栄養教育を立案できる。	〈復習〉妊娠期と授乳期の栄養摂取のポイントをまとめる。 〈予習〉乳児期についてまとめる。（テキストP107～111）	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	◆ライフステージ別栄養教育Ⅱ（乳児期） ・乳児の栄養補給 ・離乳食 ・食べることの発達と機能	講義（PC活用：NotebookLM） 質問を受け、フィードバックする	離乳食の進め方を理解し、離乳食教室を立案できる。	〈復習〉授乳・離乳の支援ガイドと咀嚼機能の関連についてまとめる。 〈予習〉幼児期についてまとめる（テキストP111～115）	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	◆ライフステージ別栄養教育Ⅲ(幼児期①) ・幼児期の特徴 ・幼児期のアセスメント項目 ・幼児期の栄養教育のポイント ・幼児期の間食	講義(PC活用: NotebookLM) 質問を受け、フィードバックする	幼児期の特徴を理解し、保護者を対象とした食育を立案できる。	〈復習〉保護者を対象とした食育計画を見直す。 〈予習〉各市町村の保育所の給食の献立やアレルギー対応を調べる。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	◆ライフステージ別栄養教育Ⅳ(幼児期②) ・保育所給食 ・乳幼児期の食物アレルギー	講義(PC活用: NotebookLM) 質問を受け、フィードバックする	保育所給食の献立から、給食前のミニ食育を立案・実施できる。	〈復習〉園児を対象としたミニ食育計画を見直す。 〈予習〉高齢期についてまとめる(テキストP124~126)	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	◆ライフステージ別栄養教育Ⅴ(高齢期) ・高齢期の特徴 ・アセスメント項目 ・栄養教育のポイント	講義(PC活用: NotebookLM) 質問を受け、フィードバックする	健康寿命を延ばす食生活について説明することができる。	〈復習〉健康寿命を延ばす食生活について見直しをする。 〈予習〉次回のパワーポイント作成のテーマについて調べ、構想をまとめておく。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	◆集団を対象とした栄養教育の実践Ⅰ ・妊産婦、子育てをしている保護者(離乳食)、高齢者を対象とした集団栄養教育をするためのパワーポイント作成	講義 演習(PC活用) 質問を受けフィードバックする、	テーマに沿った栄養教育のパワーポイントを作成することができる。	〈復習〉パワーポイントの見直しをする。 〈予習〉栄養教育の補足する内容について調べておく。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	◆集団を対象とした栄養教育の実践Ⅱ ・妊産婦、子育てをしている保護者(離乳食)、高齢者を対象とした集団栄養教育をするためのパワーポイント作成	講義・演習(PC利用) パワーポイントを作成する際に各ライフステージごとのポイントについて質疑応答形式で行い、フィードバックする	テーマに沿った栄養教育のパワーポイントと発表原稿を作成する。第12週のパワーポイントを見直し、分かりやすくするために努力している。	〈復習〉発表に向けてパワーポイントと発表原稿を見直す。 〈予習〉プレゼンテーションの練習をする。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	◆集団を対象とした栄養教育の実践Ⅲ ・妊産婦を対象とした栄養教育の実践(プレゼンテーション) ・離乳食に関する栄養教育の実践(プレゼンテーション)	講義 プレゼンテーション 質問を受け、フィードバックする	妊産婦を対象とした栄養教育、離乳食についての栄養教育をすることができる。	〈復習〉妊娠期・離乳食の栄養についてまとめる。 〈予習〉プレゼンテーションの練習をする。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	◆集団を対象とした栄養教育の実践Ⅳ ・健康な高齢者を対象とした栄養教育の実践(プレゼンテーション) ◆栄養教育実習のまとめ ・まとめテストの実施	講義 プレゼンテーション 質問を受け、フィードバックする	高齢者を対象とした栄養教育ができる。	〈復習〉ライフステージ別の栄養教育の意義についてまとめる。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力